

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	8001	振興センター等整備事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的	振興センターの利便性、安全性の向上					
対象	振興センター及びその周辺施設					
意図	地域づくり・生涯学習の拠点施設である振興センターの利便性及び安全性を確保する					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
○谷内振興センター解体工事						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			計画			
			実績			
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の不便を解消し、安全性を確保することにより、安心して地域づくり活動や生涯学習の拠点として活用が図られている度合いを振興センターの利用件数と利用人数により把握する。 ・目標設定については、現状を分析し、利用者件数・人数の見通しを立て、今後の生涯学習の進め方や一時的な利用件数の増加につながる投票所としての利用を予測し、目標値を設定した。 		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市が設置する施設であり、良好な状態で使用していくための整備は市が行う必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	設計や整備方法については、地域や利用者の意見を聞き、利用しやすい施設とすることで、施設の利用率の向上を図る。また、指定管理者であるコミュニティ会議による利用率向上のための実施を誘導する。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	施設の経年劣化に伴い、整備を必要とする施設は年々増加しており、より緊急性の高いものから整備をしており、事業費削減の余地はない。また、人件費についても最小限の業務時間であり削減余地はない。
	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	施設の老朽度危険度を総合的に判断し、市全体で整備が必要な施設を判断し、公平性を確保するとともに、施設の使用料については無料を基本とし、営利目的等の場合には、統一的な基準で使用料を徴収する。
	<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価 …上記評価結果の総括		
<p>谷内振興センターの新築整備については、平成22年度から要望書が提出され、地域と協議を重ねてきた。谷内振興センターは昭和47年建築の旧谷内小学校に設置され、市内の振興センターでは、花西振興センター（昭和38年建築）に次ぐ老朽化した施設であり、漏水など問題を抱える施設であることから、今回新たに整備しようとするものである。</p> <p>整備の手法については、地域で平成20年度より「谷内小学校の跡地を考える委員会」を設置し、2年間にわたり地域で18回の検討会や先進事例調査、多様な利用形態を想定しての社会実験などを、各行政区から選任された委員の協働・参画により進められており、地域としては現在の旧谷内小学校を解体してその敷地に整備したいとの強い要望があり、地理的にも建設適地となる敷地がほかにないことから、地域案を参考にしながら協議を重ね、地域で要望する777㎡に対し、450㎡を基本とする市の案に防災機能を加味した概ね600㎡で建築することとし、構造その他の詳細については基本設計の段階で地域と協議をしながら決定し、平成26年度において実施設計し、今年度は建物工事が完了した。</p>		

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

担当部署 部名 総合政策部 課名 地域づくり課 担当係長 佐々木 学 内線 454

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	8001	振興センター等整備事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			30,518		30,518
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		30,518		30,518

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 年度 ~ 平成 年度]

部重点施策における目標

事業開始の背景・経緯

市内27箇所に振興センターを設置しているが、それまでの公民館や地域の集会施設、小学校などとして使用されていた建物であり、建築後の経過年数もかなり経過していることから、計画的に建て替えや建築基準法に基づく用途変更を行う必要があった。

事業概要

○谷内振興センター解体工事

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

振興センターの整備計画を作成し、順次進めていくことを基本とするが、緊急性のあるもの又は法令に基づくものを優先して対応する。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 1 谷内振興センター解体工事 **30,518,080 円**
- 15節 解体工事費 30,518,080 円
- ※ 解体工事中にアスベスト含有の疑いのある断熱材が発見されたことから工事を2週間中止。このため、工期（竣工予定日）が当初予定の平成27年3月31日から平成27年4月15日にずれ込んだ（アスベストは検出されなかった）
- ※ 工事契約額49,438,080円のうち、18,920,000円を前金払い、残金30,518,080円を平成27年度に繰り越したもの
- ※ 谷内振興センター解体工事の工事期間はH26.12.12～H27.4.15